

# 赤十字ほっかいどう

もっと伝えたい。北海道の赤十字のこと。



(函館)



(伊達)

救急法体験では骨折した腕の吊り方などを練習



(釧路)

本物の腹腔鏡を使って手術体験



(旭川)

たくさんの方がドクターヘリの見学に訪れました



(浦河)

血液検査で健康チェック



## 赤十字フェスティバル

赤十字運動月間の5月。赤十字の活動をより多くの方に知っていただくため、旭川、釧路、函館、伊達、浦河で赤十字フェスティバルが行われました。子どもからお年寄りまでたくさんの方に赤十字の事業にふれていただきました。

## CONTENTS

熊本地震での活動……………2  
「防災」取り組んでいますか?……………3  
平成27年度事業報告……………4~5

世界赤十字デーライトアッププロジェクト……………6  
わがまちの赤十字奉仕団(余市町)……………7  
献血サマーキャンペーン……………8

# 平成28年熊本地震

4月14日(木)に発生した「平成28年熊本地震」では、被災地での医療救護活動や熊本赤十字病院への支援のため、北海道支部及び道内赤十字病院から延べ73名のスタッフを熊本県に派遣しました。

4月25日(月)、伊達赤十字病院救護班7名と支部災害対策本部要員2名が道内最初の赤十字救護班として熊本県へ派遣され、益城町や嘉島町などで、救護所での診察のほかに、エコノミークラス症候群予防のため、弾性ストッキングを配布して回る活動などを行いました。

また、避難生活が長引くにつれ、被災者や地元行政職員などのストレスを緩和するため、「こころのケア」を担当する職員を重点的に派遣しました。

なお、伊藤支部長が5月9日(月)に現地を視察し、被災地の現状を確認されるとともに、活動する職員を激励しました。

このほか、被災者を受け入れていた熊本赤十字病院を支援するため、道内赤十字病院を始め全国から医師や看護師が派遣され、診療にあたりました。

## ●医療救護活動

4月25日(月)～30日(土)	伊達赤十字病院救護班	7名
5月7日(土)～12日(木)	北見赤十字病院救護班	6名
	こころのケア指導者	3名
	(日赤道看護大、旭川・清水赤十字病院)	
	こころのケア班	5名
	(小清水・清水赤十字病院)	
5月10日(火)～15日(日)	旭川赤十字病院救護班	6名
	こころのケア指導者	3名
	(釧路・栗山・函館赤十字病院)	
	こころのケア班	5名
	(釧路赤十字病院)	
6月3日(金)～9日(土)	こころのケア指導者	2名
	(伊達赤十字病院・浦河赤十字看護専門学校)	
	こころのケア班	3名
	(伊達赤十字病院)	

## ●支部災害対策本部要員 延べ11名

### ●熊本赤十字病院支援

医師 5名(旭川・釧路赤十字病院)  
看護師 17名(旭川・北見・伊達・釧路・浦河・清水赤十字病院)



倒壊した建物のすぐ横を通り、避難所に行っていない方の住宅を1軒1軒回りました



長引く不自由な生活のため話を聞きストレスを緩和します



益城町の救護所で救護員を激励する伊藤支部長(右)

### 伊達赤十字病院 救護班班長

かなり ゆうすけ  
嘉成 悠介 医師

最初の道内赤十字病院救護班として4月26日から4日間、益城町や嘉島町で活動しました。

避難所では、疲労・ストレスなどから来る感冒症状が多く、また、子ども連れ、高齢者は避難所が過ごしづらいため、倒壊しかけた家屋で暮らしている方も多く心配でした。

土地勘のない場所での往診や、その日その日で行き先や活動内容が変わるなど慣れない部分もありましたが、私たちにとって貴重な経験となりました。



### 北見赤十字病院

わたべ みか  
渡部 美香 師長

熊本赤十字病院支援のため、4月20日から6日間活動しました。

病院に着くと院長始めたくさんの職員が出迎えてくれましたが、人的にも精神的にも限界に近い状態で勤務しており、発災後どれだけ大変な思いで、被災者でもある職員の皆さんが業務につかれてきたかを考えると、何とか少しでも役に立ちたいと思いました。

担当したのが整形病棟だったので、屋根補修での転落事故、家具転倒による骨折、避難所生活による肺炎などの患者様がおられました。現地のスタッフは「このような災害がまさか熊本で起きるなんて思わなかった」と言っていました。身近で大災害が起きることを想定した「備え」が重要と感じました。



# たくさんのご協力ありがとうございました



日赤北海道支部  
キャラクター アンリー

「平成28年熊本地震災害義援金」へたくさんのご協力をいただきありがとうございました。  
お預かりした義援金は、全額を被災地に設置された「義援金配分委員会」を通じて、被災された方々にお届けします。みなさまの引き続きのご協力をお願いします。  
北海道支部受付額 1億7,535万8,266円(平成28年6月15日現在)



くまもとサプライズキャラクター「くまモン」  
くまもとサプライズ熊本県許可第3772号

## 「防災」取り組んでいますか？

平成28年熊本地震では、「まさか熊本で」と思った方も多いのではないのでしょうか。災害はいつでも起きるかわかりません。もしものときに備え、赤十字では防災の意識を高めるプログラムを用意しています。町内会や会社、学校、サークルなどで活用ください。



### 町内会や会社などで

#### ●災害時高齢者生活支援講習

- 内容** 災害が高齢者のこころやからだに及ぼす影響。気をつけたい病気や症状、予防のポイントなど
- 対象** 概ね10名以上のグループであればどなたでも受講できます
- 時間** 2時間
- 費用** 教本代52円×受講人数  
講師派遣料は別途お問い合わせ下さい



熊本地震で課題となったエコノミクス症候群の予防ポイントなども紹介してごます

### 学校で

#### ●青少年赤十字防災教育プログラム 「まもるいのち ひろめるぼうさい」

- 小・中・高校の授業で使える防災教材です。授業の展開の仕方やポイントなどをまとめています。
- ※活用の際は青少年赤十字への登録をお願いします。
- 青少年赤十字とは、学校教育の中でボランティア活動などを通して思いやりややさしさを育む赤十字の事業です。



小学生(1-3年)、小学生(4-6年)、中学生・高校生用と年齢に応じた展開方法をまとめています。

# 平成27年度のご協力 ありがとうございました

平成27年度はみなさまから4億696万4,940円のご協力をいただきました。  
まことにありがとうございました。  
みなさまからいただいた活動資金をもとに行った主な事業を報告いたします。  
なお、6月に行われた平成28年度第1回評議員会にて、平成27年度の一般・医療・血液・福祉それぞれの事業報告及び歳入歳出決算が承認されました。

## 広報 2,506万6,223円

- イベント開催・参加 8回
- 小学生向け赤十字職業体験イベント「赤十字キッズランド」初開催
- 道内赤十字病院での赤十字フェスティバル 9会場
- チラシやポケットティッシュなど広報資材の作成
- 支部ホームページ・フェイスブックの運用



赤十字キッズランド

## 青少年赤十字事業 1,545万9,088円

- 子どもたちの宿泊型研修 ……5回
- 高校生一日研修会 ……3回
- 出前講座の開催 ……82回
- 活動への助成 ……32校
- 教員等の研修(本社等主催) ……7回
- 教員等の研修(支部主催) ……4回
- 赤十字絵画コンクールの実施 ……応募総数1,132点



視覚障がい体験(宿泊型研修)

## 赤十字社員の加入促進 4,488万8,308円

- 第31回赤十字北海道大会の開催
- パンフレットや領収書など募集用資材の作成
- 担当者研修会の開催



赤十字北海道大会での表彰

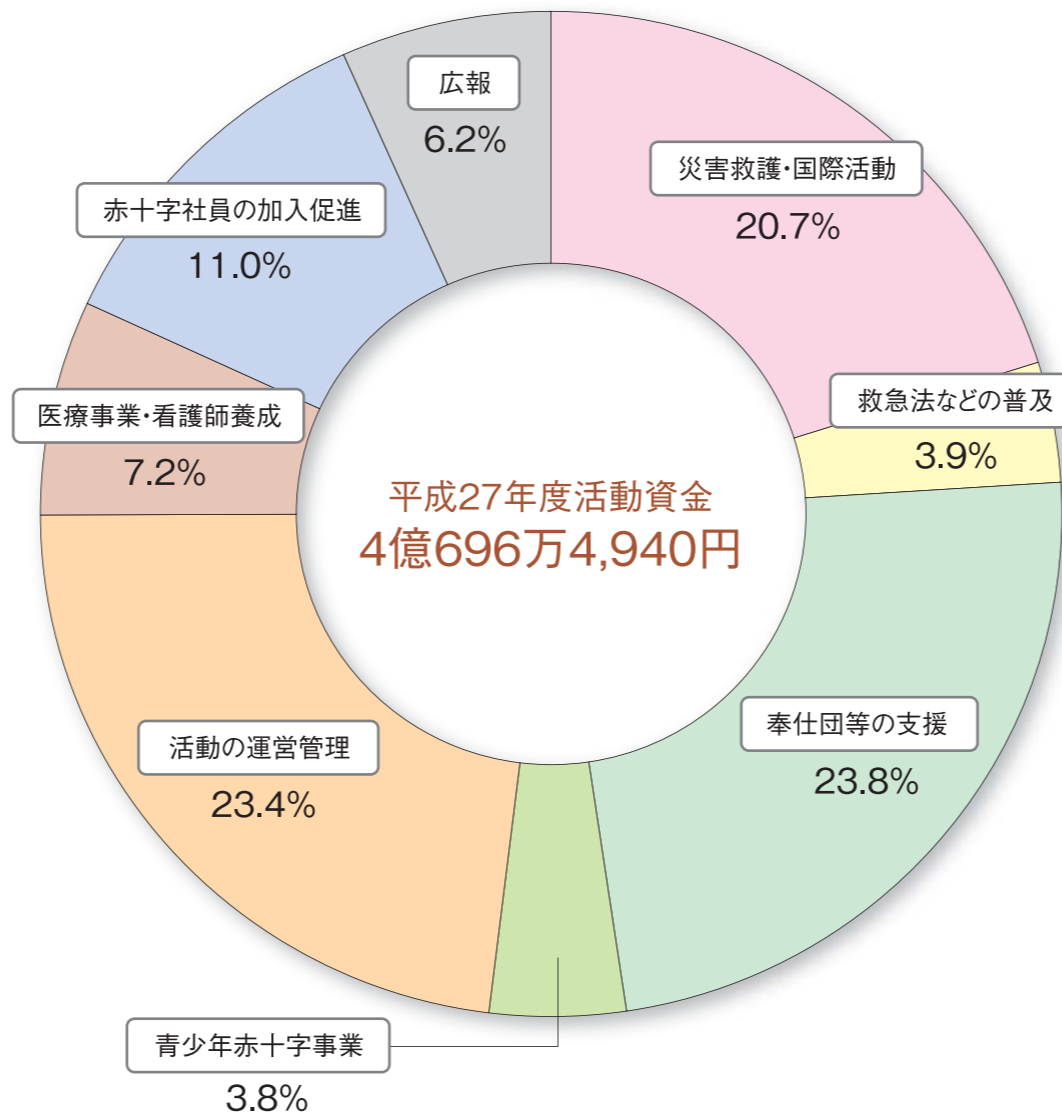
## 医療事業・看護師養成 2,943万3,991円

- 個人や法人から赤十字病院に対しての寄付による事業
- 看護師養成事業の運営管理

## 活動の運営管理 9,533万4,114円

- 赤十字会館等の維持費
- 血液事業の運営管理
- 職員の人件費
- 社会福祉事業の運営管理

※赤十字はボランティアが中心となって活動していますが、事業が円滑に進むよう専任の職員がボランティアとの調整や救援物資・資材の調達、訓練や講習会などを始めとする事業の企画・立案・調整・報告などを行っています。運営管理費にはこれら職員の人件費を始め、社屋の維持管理費・諸税などが含まれています。



## 奉仕団等の支援 9,673万9,238円

- 基礎研修会 11回
- 中級研修会 4回
- 防災などの研修会 42回
- 奉仕団の活動への助成 56件
- 奉仕団の研修への助成 27件
- 市町村への交付金 314件



地域の防災訓練での炊き出し



防災頭巾や雑巾を縫って小学校などに寄贈

## 災害救護・国際活動 8,410万5,924円

- 災害救護訓練の実施・参加 13会場
- 災害救護のための各種研修 8会場
- 災害救援車両の市町村への配備 15台
- 災害用天幕の市町村への配備 15張
- 災害用炊出し釜の市町村への配備 15台
- 毛布や緊急セットの配布
- 寝袋や非常食、無線機の整備
- カンボジアなど3カ国への救急法普及事業への支援



災害救護研修



災害救護訓練



救援物資の配布



博愛号

## 救急法などの普及 1,593万8,054円

- 救急法講習会 478回
  - ◇ 指導員養成講習 2会場
  - ◇ 指導員研修会 10回
- 水上安全法講習会 112回
  - ◇ 指導員研修会 2回
- 雪上安全法講習会 56回
  - ◇ 指導員研修会 2回
- 健康生活支援講習 66回
  - ◇ 指導員研修会 6回
- 幼児安全法講習会 90回
  - ◇ 指導員養成講習 1会場
  - ◇ 指導員研修会 5回
- 健康増進セミナー 1回



子どものけがに備えた講習



ノルディックウォーキングによる健康増進セミナー

# 5月8日 世界赤十字デー ライトアッププロジェクト

5月8日は、赤十字の創始者アンリー・デュナンの誕生日にちなみ、「世界赤十字デー」です。

日本赤十字社では、この日にあわせ、「世界赤十字デー ライトアッププロジェクト」を実施。このプロジェクトは、今年日本赤十字社が初めて全国的に実施したもので、六本木ヒルズ(東京)、名古屋テレビ塔(愛知)など、全国の象徴的な建物を赤くライトアップし、「苦しんでいる人を救いたい」という赤十字の思いを、多くの方と共有しました。

北海道内では、さっぽろテレビ塔と五稜郭タワーをライトアップ。いつもと違って赤一色になった姿に観光客らが盛んにシャッターを切っていました。また、栗山赤十字病院では、職員が病棟詰所4カ所の窓ガラスに赤いセロハンを貼り、赤十字マークをイメージしたライトアップを実施。タワーのライトアップに負けない温かな赤十字マークになりました。



栗山赤十字病院



五稜郭タワー



さっぽろテレビ塔

## 楽しい海水浴を

小樽や室蘭、函館の海水浴場では、赤十字の水上安全ボランティアがパトロールを行い、事故を防ぐための監視や溺れた方の救助を行っています。

「海は楽しい。でも、あぶない」

岸から沖に向かう「離岸流」はつかまると沖に流されてしまいますし、ちょっとした波でも油断すると溺れる原因になります。もしものときに備え、赤十字ボランティアが目を光らせていますが、ひとりひとりが事故防止を心がけ、海水浴を楽しみましょう。



もしも沖に流されてしまったら…

無理に泳いで岸へ戻ろうとせず、落ち着いて水に浮き、助けを待ちましょう。

# わがまちの赤十字奉仕団

## ～余市町赤十字奉仕団～

地域に根ざしたさまざまな活動をしている赤十字奉仕団。

その中からいくつかの奉仕団の取り組みをご紹介します。

NHK連続テレビ小説「マッサン」の放映で知名度が上がった余市町は、温暖な気候に恵まれ、果物の里としても知られています。余市町赤十字奉仕団は創立54年、団員136名で構成し活動しています。

毎年、老人福祉施設3カ所、障がい者施設2カ所の訪問活動をしています。寄贈のため団員から集めたタオルを持って伺いますが、老人福祉施設では歌や踊りを披露し、入所者のみなさんと一緒に楽しいひとときを過ごしています。「また来てね」との言葉に、来年の訪問を約束してきます。

また、障がい者施設では、運動会にお伺いし、園生とともに競技に参加し心地よい汗を流しています。その他「お花いっぱい運動」として、各施設の玄関に春から秋まで花が美しく咲き誇るよう、プランターの花を届けています。

平成26年度には、単独赤十字奉仕団基礎研修を日本赤十字社北海道支部より講師を派遣いただき、29名出席のもとしばらくぶりに開催することができました。また、毎年道南ブロック研修会には、全員に参加を呼びかけ、バスをチャーターし30名程度参加しています。平成27年度は三角巾の使い方など、いろいろ教えていただき大変参考になりました。

単独の研修会として、平成26年度は札幌市民防災センターで体験学習をしたところ、地震や風の恐ろしさが身にしみて、被災地の方々の心情を思い、大変だったと思い知りました。

平成27年度は「生きることは食べることだ」との認識のもと、ハイゼックスを使用した非常食炊出しを実習しました。

これからも、仲間の輪を広げ、明るく元気に学習し、知識を深め、災害時にも対応できるよう努めて生きたいと思えます。

委員長 福井 昭子



老人福祉施設で踊りを披露



非常食の炊出し実習

## たくさんのご協力ありがとうございました。

### ～活動資金にご協力いただき、表彰された方々を紹介します～ (敬称略)

#### 金色有功章～社資納入額50万円以上～

【札幌市】	杉澤 謙次郎
【札幌市】	博瀬 俊一
【函館市】	角谷 隆一
【函館市】	松岡 和子
【函館市】	今 千尋
【苫小牧市】	小栗 茂夫
【千歳市】	一般社団法人 日本血液製剤機構千歳工場
【砂川市】	東 英男
【旭川赤十字病院】	(株)エッチ・ケイ・プランニング 代表取締役 片桐 陽児
【北見赤十字病院】	平澤 孝
【北見赤十字病院】	桑島 貞子
【北見赤十字病院】	藤原 正男
【北見赤十字病院】	藤原 雅彦
【支部】	藤原 光子
【支部】	アイビック食品株式会社
【支部】	オルガノ株式会社北海道支店
【支部】	公益財団法人 ノーマライゼーション住宅財団
【支部】	医療法人社団 平田博日内科クリニック 平田 博日
【支部】	合資会社ホリホールディングス
【支部】	(株)HBA

#### 銀色有功章～社資納入額20万円以上～

【南幌町】	木村 修治
【南幌町】	眞鍋 智恵子
【札幌市】	浅元 百合子
【三笠市】	(有)三笠自動車
【三笠市】	(有)三笠薬局
【砂川市】	オーハン総合設備(株)代表取締役 大橋 俊彦
【北見赤十字病院】	(株)北見薬剤師会ミント調剤薬局
【北見赤十字病院】	(株)シーエス・エス
【北見赤十字病院】	小林株式会社
【支部】	真田 信行
【支部】	(株)日星電機
【支部】	(株)はなまる
【支部】	北海道ゴルフ場支配人会 会長 龍嶋 浅雄
【支部】	(株)ヴァックスラボ

#### 社長感謝状～金色有功章受章後さらに50万円以上～

【鷹栖町】	西野 耕一郎
【函館市】	佐藤 ミエ
【北見赤十字病院】	小澤 實之郎
【支部】	(有)アウルメディカル

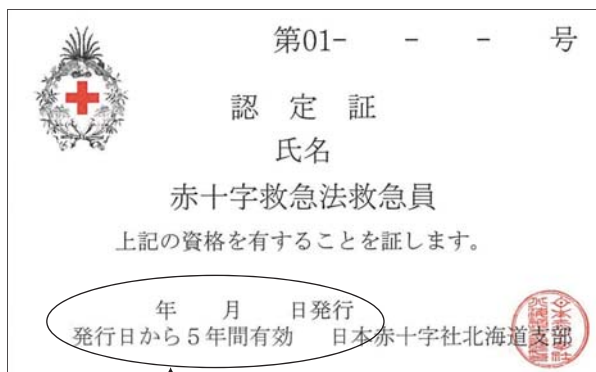
# 認定証の有効期間が変わりました

平成28年4月1日から、救急法などの赤十字安全法講習の認定証の有効期間が5年間に変更となりました。(これまでは3年間)

また、現在、資格の有効期間が残り1年以内の方を対象に行っている「資格継続研修」は、3年後の平成31年3月31日をもって廃止させていただきます。

なお、平成28年4月1日から平成31年3月31日までの期間に開催される資格継続研修を受講いただくと、お手持ちの認定証の有効期限を5年間延長することができます。

ただし、資格継続研修の対象は、資格の有効期間が原則として残り1年以内の方となりますので、計画的な受講をお願いします。



有効期限をご確認ください

## 届ける命 ふみ出す一歩

～若い人たちへ、同世代が献血を呼びかけ!～

北海道赤十字血液センターでは、7月に「全道統一サマー献血キャンペーン」を行います。

このキャンペーンは、学生献血推進ボランティア(北海道学生献血推進協議会)が中心となり、若い人たちに献血してもらうため、イベント立案や事前PR、当日の呼びかけに至るまでを学生自らがを行います。

学生のみなさんの活動が、そして若い人たちの一歩が、献血の輪を広げます。ぜひキャンペーンにお越しください。



学生が献血の輪を広げます

【札幌】7/2(土)・3(日)アリオ札幌

【室蘭】7/9(土)弥生ショッピングセンター(ホームック駐車場)

【旭川】7/3(日)イオンモール旭川西

【函館】7/23(土)函館昭和タウンプラザ

【釧路】7/10(日)イオン釧路店

※詳しくは、血液センターホームページおよびFacebookでご確認下さい。

## 水の事故を防ぐ技術を競う

～赤十字水上安全法北海道競技大会～

海水浴場やプールなど、水の事故に対する手当や事故防止の方法を広める水上安全法。道内にはその奉仕団が16団あり、団員たちが自らの技術を競う大会が10月に旭川市で開催されます。

重たい人形を抱えての水中リレーや溺れた人をチームで救助する競技など、鍛えられた団員の勇姿をぜひご覧ください。

開催日 : 平成28年10月2日(日)

場所 : 旭川市近文市民ふれあいセンター



発行日 平成28年7月1日

発行元  日本赤十字社 北海道支部  
Japanese Red Cross Society

札幌市中央区北1条西5丁目  
Tel : 011-231-7126

 公式フェイスブックで情報発信中!  
<https://www.facebook.com/hokkaido.jrc>



ホームページで

日赤北海道

検索

[www.hokkaido.jrc.or.jp/](http://www.hokkaido.jrc.or.jp/)